

7月のデキゴト

《環境学館いずみの職員が変わりました。》

令和2年4月1日付の人事異動により、環境学館いずみの職員に変更がありました。

今後とも地域の皆さまに愛され、親しんでいただける『いずみ』を目指して取り組んで参りますので、職員一同宜しくお願い致します。

◆新館長 林 比呂樹

都市整備部 都市計画課 開発指導担当より異動となりました。環境学館いずみの皆様と一緒に環境教育を推進してまいります。よろしくお願いいたします。

【 退任者 】

◆前館長（環境産業部次長兼環境政策課長） 澁谷 務

※環境産業部 部長へ昇任

◆前副館長（環境産業部環境政策課副課長） 小川 勝

※環境産業部 環境政策課 課長へ昇任

*** 職員からの一言 ***

初めまして。4月より 環境学館いずみ 館長 に着任しました 林 比呂樹 です。環境行政は初めてになります。昨年度まで 都市整備部 都市計画課 開発指導担当 という部署で開発許可等の仕事をしておりまして、入庁して殆どの時間を土木・建築の仕事をしてきました。

本来であれば、4月より、いずみボランティアの皆さんと講座の企画、運営を進めていくところでしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止を進めるため、3月から4か月間、市内公共施設の大部分が休館となりました。この7月より、やっと感染防止対策を徹底することで、再開することができました。コロナ禍以前の様な講座の運営の仕方では、難しい面も多々あります。最近では、再び感染者が増えてきている状況にあります。一人一人が「感染しない」、「感染させない」を考えていただきながら、事業を進めていきたいと思えます。

さて、今までの仕事はどちらかといえば、自然環境に負荷を与えてきた仕事と思えます。個人的に環境負荷を軽減する取り組みとして、一般的な節水、節電、ごみ減量、分別ごみ出し等、家庭内で行うことは徹底して実施しています。私自身、料理もしますが、特に、揚げ物で使用した油は、自宅ですら過剰、炒め物等の際に使っているため、ごみに出すことは無く100%使い切っています。また、自然の中を歩いたり、走ったりすることが好きです。月に一度は山野草観察や野鳥の声を聴きに奥武蔵の山へ入って自然を楽しんでいます。余談ではありますが、「目指せ、日本100名山制覇」を少しずつ進めているところで、現在は36/100座。まだまだ先は長いです。

今後におきまして、わからないことや不慣れなことも多々あると思えます。いずみボランティアの皆さんに、いろいろと教えていただきながら、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。